

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール八反田		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 6日	～	令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日	～	令和6年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが来たいと思える事業所作りができている	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち同士で関われる時間を多くとり、自分たちで何かをやる、成功させる機会を設定している 子どもがやりたいことや挑戦したいことを自分から発信ができるような環境作りを心掛けている 子どもの声を反映させた活動の実施 スタッフも一緒に活動や遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長に合わせた遊びやアイテムを増やす 子どもが楽しめかつ学びとなるような活動やイベントを今後も展開していく 内外部の研修に参加し、スタッフのスキルアップを図る
2	パソコン、タブレット、知育パズル、レゴを使用したITスキル支援を展開している	<ul style="list-style-type: none"> 児童ごとの習得状況や好きなものに合わせた課題の設定 モチベーションアップのためのトークンシステム 遊びの中で自然とITスキルを活用できるレクリエーションの企画 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分の習得状況を確認しやすくなるようにスモールステップの可視化を行う より実践的なITスキル支援の展開(グループチャット、Excelなど) 動画、画像の編集を取り入れて、ITを使った遊びの幅を広げていく
3	保育士、看護師、高齢、就労、PT、ST等、多種多様な経歴や専門知識のあるスタッフが多く在籍している	<ul style="list-style-type: none"> 日々の情報共有のなかで多角的な視点からの意見をもち、児童が伸ばせる力や今後必要になってくる力、目標などの分析を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 各職員の知識の共有を行い、全スタッフの出来ることの数を増やす 全スタッフが気付きの視点を持ち、情報共有を今以上に密に行い、児童一人ひとりに必要な支援を共通認識のもと提供できるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会や家族参加型イベントを昨年より開始したが、開始までに時間を要してしまった 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会や家族で参加できる活動などを今まで以上に展開していきたい 保護者が気軽に事業所に相談に来れたり、活動の見学などがしやすい雰囲気作りや保護者への声掛けを行っていく
2	児童にかかわる関係機関との連携や地域との連携が充実しているとはいえない	<ul style="list-style-type: none"> 連携は行っているが実施回数に改善の余地がある。関係構築をするための取り組みが不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化を図り、時間の確保を行う 学校連携、相談員との連携に力を入れていく 地域交流を増やし、事業所を通して児童が社会とのかかわりを持つ機会を増やしていく
3			